

一般社団法人サルビアねっと協議会と連携協定を締結し、 医療・介護の情報連携を推進します！

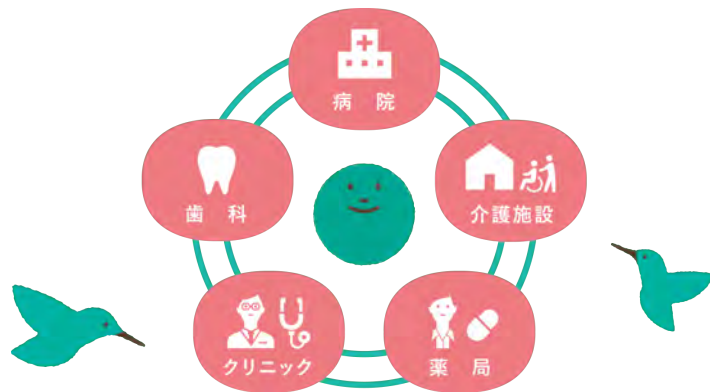
横浜市は、一般社団法人サルビアねっと協議会と連携協定を締結しました。本協定に基づき、地域医療介護連携ネットワークの一つ「サルビアねっと」の普及・活用を通じた医療・介護情報連携の推進に取り組みます。

1 背景

令和22年（2040年）頃に向け本市はさらなる高齢化が進展する一方、生産年齢人口は大幅に減少し、医療・介護分野において、担い手不足の深刻化とサービス需要の増加が同時に進行すると見込まれています。こうした社会構造の変化に対応するためには、限られた医療資源を最大限に活用しつつ、医療・介護の現場が効果的かつ効率的に情報を共有し、**地域全体で患者を支える「地域完結型医療」の実現が急務**となっています。このような状況を踏まえ、ICTを活用したデータ共有・連携の情報連携基盤として、地域医療介護連携ネットワークの活用が期待されています。

2 「サルビアねっと」について

地域医療介護連携ネットワークは、登録に同意いただいた**市民の医療・介護情報**を、**医療機関や介護事業所等が共有するクラウド型の情報連携ツール**です。その一つである「サルビアねっと」は、平成30年度に横浜市の実証事業として運用を開始し、一般社団法人サルビアねっと協議会（代表理事 みすみ たかひこ 三角 隆彦・済生会横浜市東部病院長）が運営しています。



■現在の運用状況（令和8年2月1日時点）

- ・展開エリア：**鶴見区、神奈川区、港北区、西区**

※令和8年度には市立病院（市民病院、みなと赤十字病院、脳卒中・神経脊椎センター）へ導入予定

- ・参加施設数：**247施設**（病院、クリニック、薬局、介護施設など）
- ・登録者数：**28,099人**

■「サルビアねっと」の登録メリット

病気の難しい説明をまちがえずに伝えられる

もしもの急変時も持病や受診歴がすぐ伝わる

ムダな検査やお薬がなくなる

災害時でも医療情報が守られる

裏面あり



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



「サルビアねっと」に登録すると、複数の医療機関にかかっている場合でも、病気のことや治療の方針、服用しているお薬などを、毎回詳しく説明する負担が軽くなります。また、急な病気で救急搬送された際にも、持病やアレルギー、かかりつけの医療機関などの情報がすぐに共有できるため、より安心して医療を受けることができ、住み慣れた地域で暮らし続けることを支えます。

■登録を希望する市民の皆様へ

お申込みは参加施設、またはウェブページからも受け付けています。

参加施設や登録方法の詳細については、下記ウェブページをご覧ください。



<https://www.salvianet.org/>

3 連携協定締結と今後の取組

本市では、地域医療介護連携ネットワークの利便性や有用性について、より多くの市民の皆様へ理解を深めていただき、登録の促進につなげるとともに、市内全域において取組が一層進展することを目的として、連携協定を締結しました。

今後は、「サルビアねっと」の参加施設と連携しながら、市民の皆様への分かりやすい周知や登録支援等の普及啓発に取り組み、地域医療介護連携ネットワークのさらなる活用促進を図ります。

■協定締結日：令和8年3月17日（火）

■連携事項：参加施設の拡大、利活用支援及び人材育成、
登録者数の増加に向けた協力

※別添資料

協定に基づく取組の一つ：市と「サルビアねっと」のコラボレーションチラシ

お問合せ先

(地域医療介護連携ネットワークについて) 地域医療課担当課長 岩崎 Tel 045-671-4813

(サルビアねっとについて) サルビアねっと協議会事務局 小谷・安福 Tel 045-900-3090 (代表)



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



＼横浜市医療局からのお知らせ／

データでつながる安心

あなたを支える医療と介護のネットワーク



病気の難しい説明を
まちがえずに
伝えられる



もしもの急変でも
持病や受診履歴が
すぐ伝わる



ムダな検査や
お薬がなくなる



災害時でも
大切な医療情報を
守ってくれる



登録
無料

ふだんも、いざという時も。安心は、たった1回の登録から

横浜市では、医療・介護関係機関をICTを活用したネットワークでつないで、必要な情報を共有しながら協力し合う仕組づくりを進めています。安心して暮らし続けられるように、地域の医療・介護の専門職が連携して支えるしくみ——それが「地域医療介護連携ネットワーク」です。鶴見区からスタートしたネットワーク「サルビアねっと」が今、市内へと広がっています。ぜひ登録をご検討ください。

詳しくは裏面をご覧ください▶

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
横浜市

登録は
こちら

都市型 医療介護情報連携
サルビア
ねっと



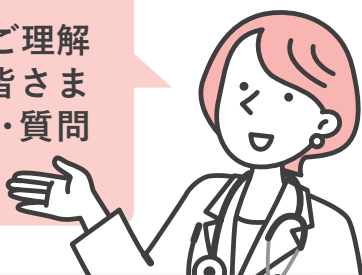
＼ もっと知ってほしい /

都市型 医療介護情報連携



サルビア ねっと

サルビアねっとをご理解
いただくために、皆さま
からよく頂く疑問・質問
にお答えします。



Q 誰が、何のために、始めたの？

病院・歯科・看護・介護の関係者が集まった協議会によって運営されています。ひとと言えうなら、「皆さんの健康に役立つ」ことを目的としています。サルビアねっとを活用して正確な情報に基づいた医療・介護サービスが提供されることで、皆さんの安心と安全を高め、同時に利便性も向上させるのがねらいです。

Q 他の地域ではどうなの？

国が進めるネットワークづくりの一環で、同様の取り組みがおよそ200の地域で行われています。サルビアねっとは「都市型」医療介護連携の先駆的な取り組みとして注目されています。

Q どうやって登録したらいいの？

参加施設で配布している申込書に記入し、提出してください。参加施設はサルビアねっとのホームページで確認でき、申込書もホームページでダウンロードできます。現在、医療機関にかかっていない方も、将来あるいは緊急時の備えとして登録されることをお勧めします。**登録は無料です。**

サルビアねっとの仕組み

住民の皆様が病院や介護施設、調剤薬局などを利用した際の医療・介護情報が連携する施設間で相互に共有されるICT(情報通信技術)を活用したシステムです。



Q 今、どのくらいの人が参加しているの？

2026年1月現在、登録者数は約26,000人、参加施設は約250施設を数えます。今後はさらに参加施設を増やし、より充実したサービスの提供を目指します。

Q 個人情報を提供して大丈夫？

国が定める医療情報の取り扱いに関するガイドラインに対応し、徹底した注意が払われています。特徴として、情報へのアクセス権限を細かく設定しています。どの立場の人がどの情報にアクセスできるかの制限を設け、誰がどの情報にアクセスしたかの履歴も記録されています。医療情報を見られる人は制限されます。

Webからも登録いただけます

登録ステップ

- ① スマホでQRコード読取り
- ② 「参加申込はこちらから」をクリック
- ③ 利用規約をチェック
- ④ 必要項目を入力
- ⑤ 登録完了、連携開始



横浜市は一般社団法人サルビアねっと協議会と連携協定を締結し、地域医療介護連携ネットワークの普及に取り組んでいます。

サルビアねっとについて <https://www.salvianet.org/>

一般社団法人 サルビアねっと協議会

☎ 045-900-3090 📅 9:00-17:00(月)-(金)祝日除く

地域医療介護連携ネットワークについて

横浜市医療局地域医療部地域医療課

☎ 045-671-2993